

[畑・転換畑作部門]

## 2. 外観と食味から評価した黒大豆枝豆の収穫時期の目安

[要約]

慣行栽培における丹波黒大豆は、莢の厚さが 12mm 以上となる開花後 50 日から、莢の色及び食味が低下する開花後 70 日程度までが収穫時期となる。また、一斉収穫する場合の目安は開花後 65 日頃である。

[担当] 作物研究室、化学研究室

[連絡先] 電話 086-955-0275

[分類] 情報

-----  
[背景・ねらい]

本県産黒大豆は、作付面積・生産量ともに日本一を誇るものの、作柄等によって価格が変動することから、安定した需要の見込める枝豆の生産拡大とブランド化による需要拡大を図る必要がある。そこで、外観と食味の変化から枝豆の収穫時期を明らかにする。

[成果の内容・特徴]

1. 開花後日数が経過するに従って莢の厚さが増し枝豆粗収量は増加するが、莢の厚さ 12mm 以上の枝豆が得られるのは開花後 50 日を越えてからである。開花後 65 日には莢の厚さ 12mm 以上の収量の割合が約 70 %となる (図 1)。
2. 開花後日数が経過するに従って莢の色は緑色から黄色へと徐々に変化するが、開花後 71 日を越えると急速に黄化し、外観が劣って商品価値が低下する。また、この時期から子実にも着色がみられ始め、緑色から赤紫色へと変化する (図 2、図 4)。
3. 開花後 71 日を越えるとアミノ態窒素含量が急激に減少し、食味評価が低下する (図 3)。

[成果の活用面・留意点]

1. 「岡山系統 1 号」の 6 月下旬播種に適用できる。
2. 開花期は、開花した株が全体の 50 %に達した日とした。
3. 収穫する時の莢の厚さ、色については各地域の出荷規格に準じること。

[具体的データ]

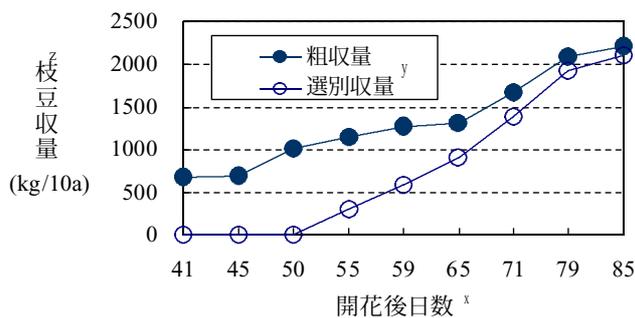


図1 開花後日数による枝豆収量の経時変化  
<sup>z</sup>株取りしたときの収量を調査  
<sup>y</sup>莢の厚さが12mm以上の収量  
<sup>x</sup>開花期は8月12日

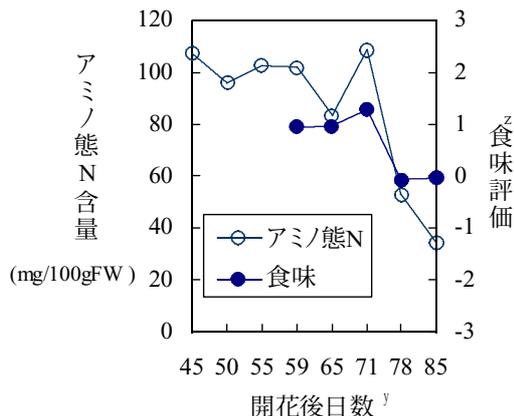


図3 開花後日数による枝豆食味の経時変化  
<sup>z</sup>-3~+3の7段階評価  
(+:おいしい, -:おいしくない)  
<sup>y</sup>開花期は8月12日

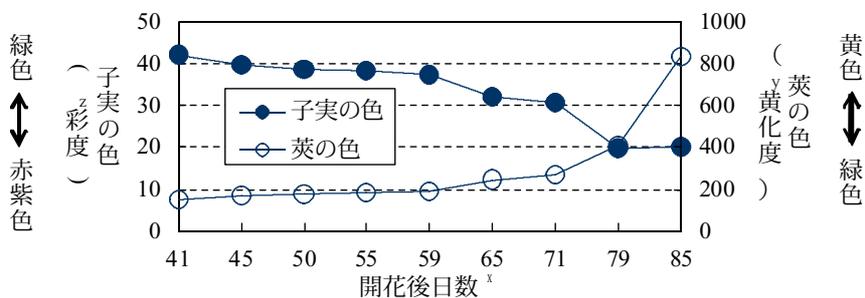
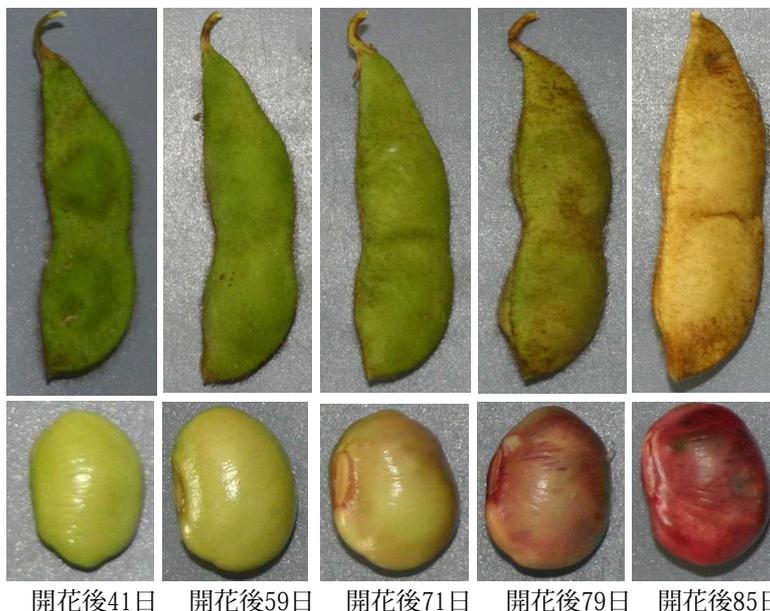


図2 開花後日数による枝豆品質の経時変化  
<sup>z</sup>色差計による測定値から、彩度 =  $\sqrt{a^{*2} + b^{*2}}$   
<sup>y</sup>色差計による測定値から、黄化度 =  $L^* \times b^* / |a^*|$   
<sup>x</sup>開花期は8月12日



開花後41日 開花後59日 開花後71日 開花後79日 開花後85日

図4 開花後日数による莢および子実の外観変化

[その他]

研究課題名：「おかやま黒まめ」の枝豆生産拡大技術の確立

予算区分：県単

研究期間：2008 年度

研究担当者：赤澤昌弘、高野和夫、田村尚之